

平成 29 年 10 月 12 日

各位

株式会社北洋銀行



TSUBASA金融システム高度化アライアンス加盟行による「TSUBASA FinTech共通基盤」の開発着手について

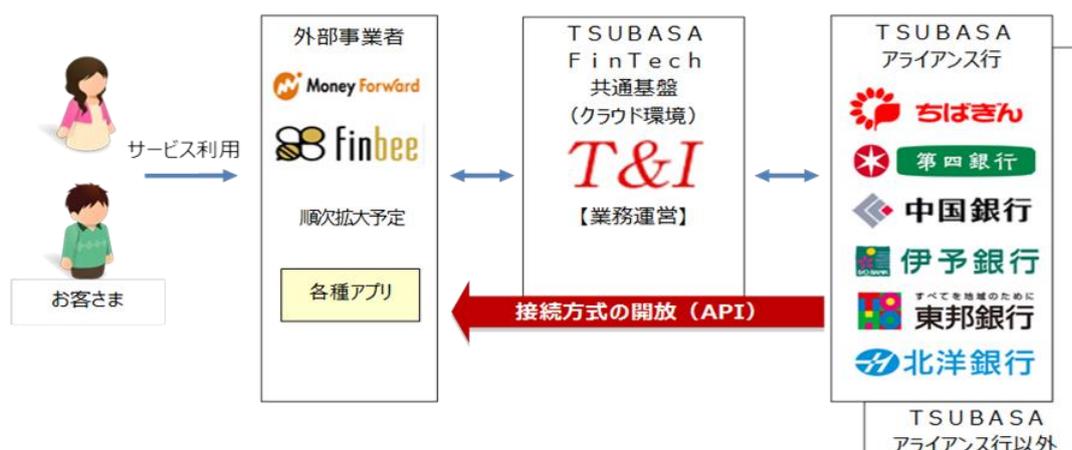
北洋銀行は、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」^{※1} 加盟行及びT&Iインベーションセンター株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社と共同で進めているAPI共通基盤構築プロジェクトにおいて、平成 29 年 10 月 2 日(月)より、「TSUBASA FinTech共通基盤」の開発に着手いたしましたので、お知らせします。

本プロジェクトは、オープンAPI^{※2}を活用した先進的な金融サービスの提供に向け、フィンテック企業等の外部事業者の皆さまが同一の仕様で接続できる共通基盤の構築を目的として、今年 5 月に始動しました。

今回、開発する「TSUBASA FinTech共通基盤」は、安全性を確保した認証方法により、インターネットバンキング契約のないお客さまについても各種のAPIとデータ連携することができるため、より多くのお客さまに安心してさまざまなフィンテックサービスをご利用いただけるようになります。

第一弾として、平成 30 年春には、株式会社マネーフォワードの自動家計簿サービス「マネーフォワード for 北洋銀行」、「MFクラウド確定申告 for 北洋銀行」(仮称)及び株式会社ネストエッグの自動貯金サービス「finbee (フィンビー)」の提供を予定しております。

<「TSUBASA FinTech共通基盤を活用したサービス提供のイメージ図」>



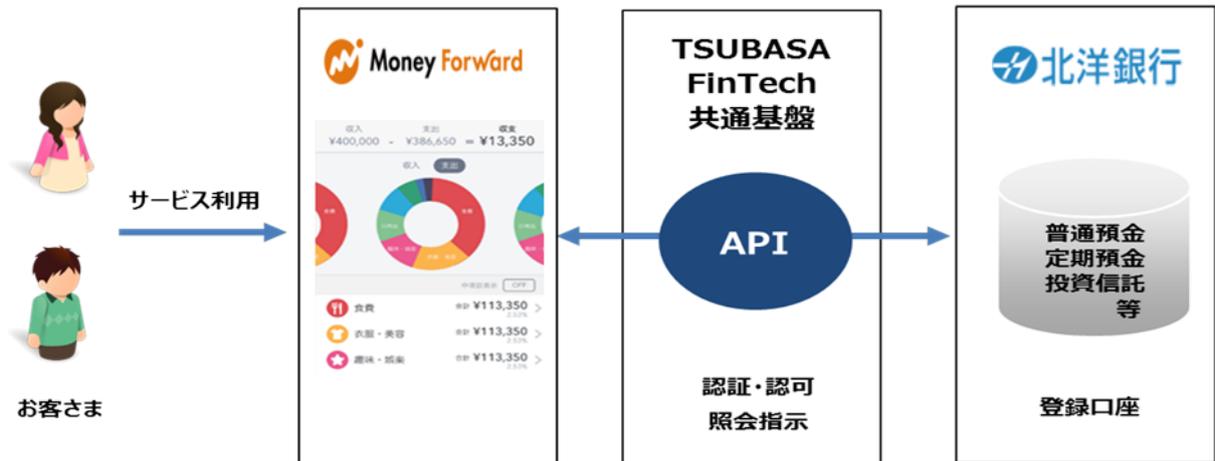
※1 フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の 6 行が加盟しています。

※2 APIとは、Application Programming Interface の略。お客さまの同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組みで、その仕様等をフィンテック企業等の外部事業者に公開することを「オープンAPI」と言います。

以上

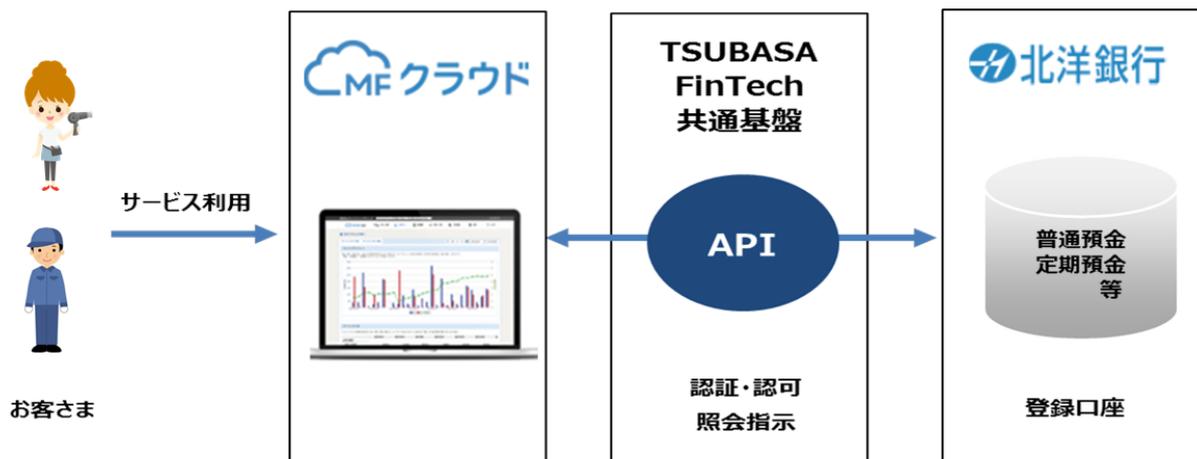
<個人向け自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード for 北洋銀行」>

株式会社マネーフォワードが運営する自動家計簿・資産管理サービスで、口座の入出金やクレジットカード履歴をもとに、食費や光熱費などのカテゴリに自動で分類し家計簿を作成することができる。また、アプリ上に通帳機能があり、入出金明細の閲覧も可能。



<クラウド会計ソフト「MFクラウド確定申告 for 北洋銀行」> (仮称)

株式会社マネーフォワードが運営するクラウド会計サービス「MFクラウド会計・確定申告」の個人事業主向けのサービスで、口座の入出金やクレジットカード履歴をもとに、自動的に仕訳をすることができる。



※いずれのサービスも、北洋銀行版以外でも当行口座はAPI連携となります。

【株式会社マネーフォワード概要】

企業名	株式会社マネーフォワード
所在地	東京都港区芝 5-33-1 森永プラザビル本館 17 階
代表者	代表取締役社長CEO 辻 庸介
事業内容	インターネットサービス開発

<自動貯金サービス「finbee(フィンビー)」>

finbee(フィンビー)は、株式会社ネストエッグが運営する自動貯金サービスで、「自動車」「旅行」等の目的や目標金額等を設定し、おつりや歩数に応じて積立をするなどライフスタイルに合わせて楽しみながら積立ができる。



【株式会社ネストエッグ概要】

企 業 名	株式会社ネストエッグ
所 在 地	東京都千代田区紀尾井町 3-12 紀尾井町ビル 11 階
代 表 者	代表取締役社長 田村 栄仁
事 業 内 容	貯金・決済サービスの企画・開発・運営

以上